

神田川整備工事（白鳥橋上下流）説明会

白鳥橋上下流の護岸整備及び橋梁架替工事について

〔議事要旨〕

1 開催日時：令和6年3月6日（水）午後7時00分～午後8時00分

2 場所：小石川運動場 会議室（文京区後楽一丁目8番23号）

3 説明内容

- ①神田川整備の概要について
- ②神田川整備工事の施工内容について

4 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

質問1：工事中のリスク管理について

- ①バリケードを並べた脇を人が通るのは危ないのではないか。
- ②工事中の洪水対策は取られているか。

回答1：①バリケードは車道と工事用の作業帯を分けるために設置するものである。歩行者と作業帯が近くなる場所もあるため、日々の点検を行い、必要な安全対策を講じる。
②工事中は土のう等を準備し、必要な安全対策を講じていく。なお、河川内に仮設構造物を設置するが流量解析を行い、安全性が確保されることを確認している。

質問2：橋梁の架替について、昨今は一括架設で行われている事例もあるが、どのような工法を採用しているか。施工期間を短縮してほしい。

回答2：今回の工事は、現橋の撤去及び新橋の橋台構築を行うものであるため、コンクリート構造物の取壊し・構築など、一般的な工法で施工を行うことになる。なお、河道内及び現道に挟まれた現場で施工を行うため、新橋の上部工架設においても大型の重機等を使用した一括架設は困難であると考えている。

質問3：橋長が約2m短くなるため、桁下を60cm上げる必要が生じたのか。

回答3：現在の白鳥橋は、橋の下面の高さが低いため、洪水を安全に流すために橋を嵩上げする必要がある。橋長が短くなるのは、近接構造物との離隔を確保するためである。

質問4：現場付近は川がカーブしているため、水があふれないか心配である。

回答4：流量解析を行い、問題が無いことを確認している。

質問5：歩行者用の仮橋を設置してほしい。

回答5：①川幅が広く平常時には護岸と水面までの高低差があり、簡易な仮橋の設置が難しい。

②白鳥橋の下流側については、仮橋を設置した際、歩道と横断歩道、歩行者が信号待ちするスペースがない。

③白鳥橋の上流側については、今回工事で作業を行う範囲になるため、仮橋を設置することができない。

このため、仮橋の設置は困難であると考えている。早期完成を目指して進めていくため、迂回ルートをご利用いただきたい。

質問6：土日が休工となり、工事が進まないことで、コストも工期もかかるのではないか。

回答6：建設業も労働者の働き方改革を進める必要があり、週休2日制の実現に向けて取り組んでいるため、ご理解いただきたい。

質問7：文京区側に小石川消防団の倉庫があるが、今回の工事で使用に影響はあるか。

回答7：倉庫の利用ができるよう、倉庫前にキャスターゲートを設置する予定である。

以上